

平成22年11月17日

株式会社 池田泉州銀行

**平成22年度 ニュービジネス助成金
“地域起こし” 大賞300万円 1プラン
同優秀賞 2プラン・同奨励賞 10プラン 採択!**

株式会社池田泉州銀行（頭取兼 CEO：服部 盛隆）では、地域起こし策の一環として、平成15年4月から、新規性、独創性に富む技術やビジネスプランを有する企業・起業家の発掘・支援を目指した「ニュービジネス助成金」をスタートいたしました。

以来、今回を含む全11回で1,154件（前年1,010件）にもものぼるビジネスプランの応募をいただき、当助成金制度は京阪神の企業や起業家に広く認知され、定着してまいりました。今後も地域におけるニュービジネスの発展に微力ながら寄与してまいりたいと考えております。

合併後新銀行として初めての公募となり、和歌山県を含めた幅広い地域および幅広い分野から、144プランの応募があり、新規性、独創性あふれるプランの中から、産学官連携（大阪大学、神戸大学、関西学院大学、独立行政法人産業技術総合研究所、株式会社日本政策投資銀行等）による『ニュービジネス目利き委員会』での評価・審査を経て、本日“地域起こし”大賞・同優秀賞・同奨励賞を決定いたしました。

今回の決定を含め、表彰企業の総数は117社（前年104社）、助成金の総額は8千万円を超える規模になりました。

選出にあたり各審査委員からは、受賞された企業の技術・ビジネスプランに対しまして「今回も非常に高いレベル」との評価をいただきました。

“大賞”（1プラン）及び“優秀賞”（2プラン）、奨励賞（10プラン）は別紙の通りです。本日、「関西活性化フェア」の会場（マイドームおおさか）において、大賞（300万円）・優秀賞（100万円）・奨励賞（50万円）の発表とともに、各賞の授賞式を執り行いました。

ニュービジネス助成金について

池田泉州銀行は平成15年4月、地元経済の活性化に貢献すべく、研究開発型事業・ニュービジネス事業への積極的な支援・育成を目指した、“地域起こし”制度の一環として創設いたしました。

近畿の金融機関として初めて、新規性・独創性ある技術やビジネスプランを一般から公募し、産学官連携の「ニュービジネス目利き委員会」による新規性・独創性・市場性・将来性等の総合評価をとおして、優秀なプランに対し“地域起こし”大賞300万円を最高に、年間12プランを目途に、総額1,000万円程度をお贈りしています。

(別紙)

【“地域起こし” 大賞 (1プラン) 300万円】

企業名	プラン名
野田金型有限会社 (大阪府高石市) 取締役社長 堀口 展男	一体品削りだしエルボの製作と販売

【“地域起こし” 優秀賞 (2プラン) 各100万円】

企業名	プラン名
フルヤ工業株式会社 (兵庫県篠山市) 代表取締役社長 降矢 寿民	熱可塑性樹脂×シリコンゴム(熱硬化性)の 同時一体成形品の試作開発
DL-MARKET 株式会社 (旧社名: 株式会社ブイソル) (大阪府大阪市淀川区) 代表取締役 土屋 昌弘	デジタルコンテンツ専門のマーケットプレイス「DL-MARKET」

【“地域起こし”奨励賞（10プラン）各50万円】

企業名	プラン名
<p>株式会社アステック （兵庫県姫路市） 代表取締役 森本 一生</p>	<p>鉄系触媒による排水中の硝酸態窒素除去システムの製造・販売・保守ビジネス</p>
<p>株式会社イーディーピー （大阪府池田市） 代表取締役 藤森 直治</p>	<p>ダイヤモンド単結晶素材</p>
<p>石見 浩之 （大阪府大阪市都島区）</p>	<p>“ぬれ断熱金型”（商品名リック金型）による新射出成形技術の市場展開事業</p>
<p>株式会社カサタニ （大阪府大阪市淀川区） 代表取締役 笠谷 勝美</p>	<p>純アルミニウム冷間鍛造による大型軽量放熱盤</p>
<p>株式会社 GMJ （兵庫県神戸市中央区） 代表取締役社長 阪井 寛史</p>	<p>実地医療に応用可能な腫瘍細胞ワクチンと免疫細胞を併用した新規癌免疫療法の研究開発</p>
<p>東進工業株式会社 （大阪府豊中市） 代表取締役 宮間 哲</p>	<p>アルミドロスの処理回収装置の事業化</p>
<p>株式会社西研デバイズ （大阪府大阪市淀川区） 代表取締役 西 進</p>	<p>養殖用 超微細気泡発生装置の活用</p>
<p>八紀産業株式会社 （兵庫県神戸市長田区） 代表取締役 福井 紀美江</p>	<p>食品および他分野の有機物排水物の浄化と沈降スラッジのリサイクル事業</p>
<p>株式会社プロアシスト （大阪府大阪市中央区） 代表取締役 生駒 京子</p>	<p>高速な物体認識が可能な 3次元ビジョンセンサユニットの商品化</p>
<p>株式会社レック制御 （大阪府岸和田市） 代表取締役 山崎 誠</p>	<p>リチウムイオン 2次電池のコスト削減のための装置の製造と販売</p>

【ニュービジネス助成金 応募件数・受賞件数の推移について】

参 考

	第1回 (15年上期)	第2回 (15年下期)	第3回 (16年上期)	第4回 (16年下期)	第5回 (17年上期)	第6回 (17年下期)	第7回 (18年)	第8回 (19年)	第9回 (20年)
応募件数	86件	72件	84件	62件	87件	48件	167件	116件	156件
受賞件数	10件	10件	10件	10件	10件	5件	13件	12件	12件

	第10回 (21年)	第11回 (22年)	合計
応募件数	132件	144件	1,154件
受賞件数	12件	13件	117件

※第7回（平成18年度）より年1回募集

【第11回 ニュービジネス助成金公募結果について】

分野別内訳		
IT・情報通信関連	30件	21%
ナノテク・製造技術関連	45件	31%
エコ・環境・バイオ関連	22件	15%
医療・福祉関係	10件	7%
その他	37件	26%
合計	144件	100%

地域別		
大阪府	104件	72%
(内大阪市)	(49件)	(34%)
兵庫県	23件	16%
京都府	11件	8%
和歌山県	6件	4%
合計	144件	100%

企業・個人		
企業	122件	85%
個人	22件	15%
合計	144件	100%